

Kairon チュートリアル

このチュートリアルではトランプ大統領（1946年6月14日 10:54LT、Jamaica New York とする）を例にホロスコープを表示する方法を説明します。

（1）初期設定

まずは初期設定です。「環境設定」メニューをタップします。

「グラフィック」ではホロスコープに表示する各種情報を設定します。「度分表示」では天体に度数のみ、度数目盛りをサイン内に、アセンダント（AC）をチャートの「左」に表示した設定です。ホロスコープ上のアスペクトは各天体上に引くスタイルとしました。



「計算」ではホロスコープの各種計算を設定します。一般のホロスコープではトロピカル、アトラスは市町村を検索とし完全一致は OFF が使いやすいでしょう。ジオセントリックでハウスはプラシーダスとしました。

「リスト」ではリストに表示される内容を設定します。位置、赤緯、カスプ、中世式品位を表示しておくことが一般的と思われます。

「色」は変更しないで使ってみます。上記以外の部分は好みに応じて ON/OFF してみてください。



「天体」ではホロスコープに表示する天体を選びます。各天体をタップすると天体ごとに2・3・4区分の点数、オーブ、色を個別に設定できます。一般的な点数表示としたい場合は、10大天体の点数をすべて1点、それ以外を0点としてください。



「アスペクト」ではホロスコープに表示するアスペクトを選びます。各アスペクトをタップすると色を個別に設定できます。



これで準備は完了です。

(2) 出生データ入力

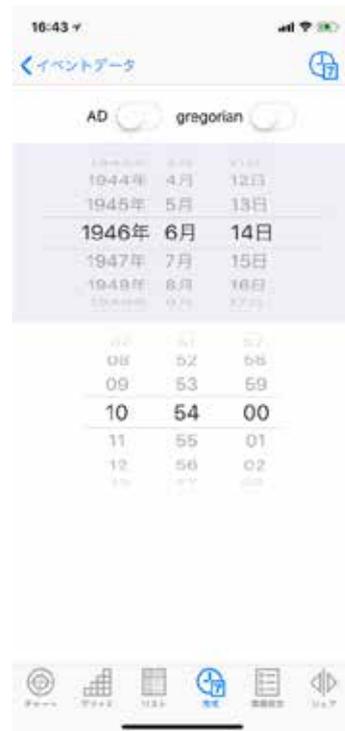
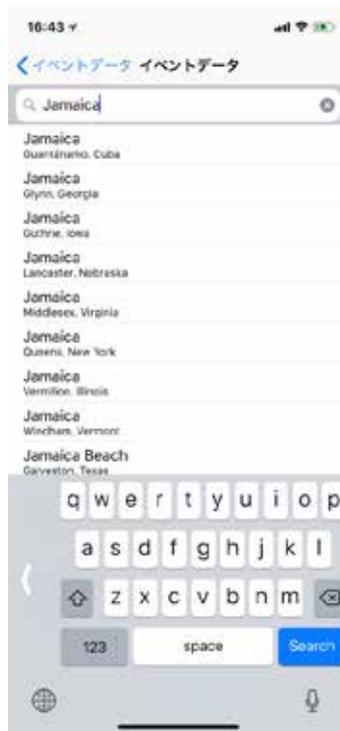
次に出生データの入力を行います。

「方式」メニューをタップし、「チャート、データ入力」に進みます。

ここでは「編集」で Cereb という項目を追加し、そのカテゴリーにトランプ大統領を追加してみましょう。

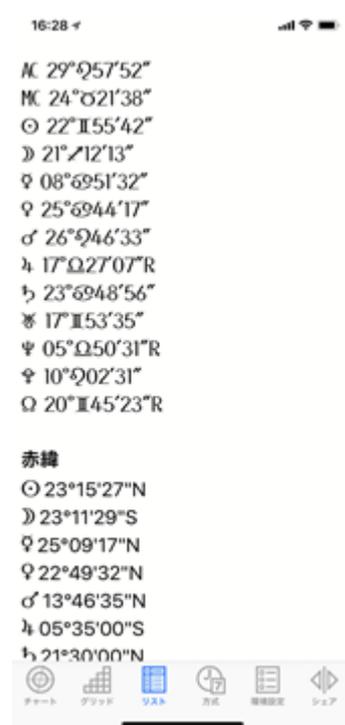
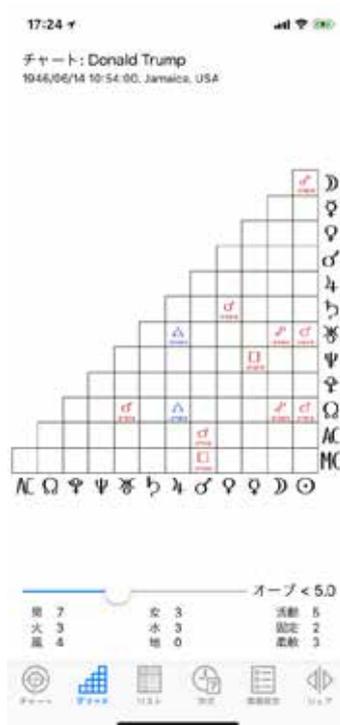
時刻はローカルタイムで入力しますので、先に「場所」をタップし、出生地を検索します。トランプ大統領は米国ニューヨーク州クイーンズのジャマイカなので、Jamaica と検索すると Jamaica, Queens, New York がありますので、それを選択。

次に「日」をタップし、1946/06/14 10:54:00 を回転式メニューからそれぞれ選択し以下のようになれば出生データ入力も完了です。



(3) チャートの表示

ここまでで全ての準備は完了していますので「チャート」メニューをタップしてください。

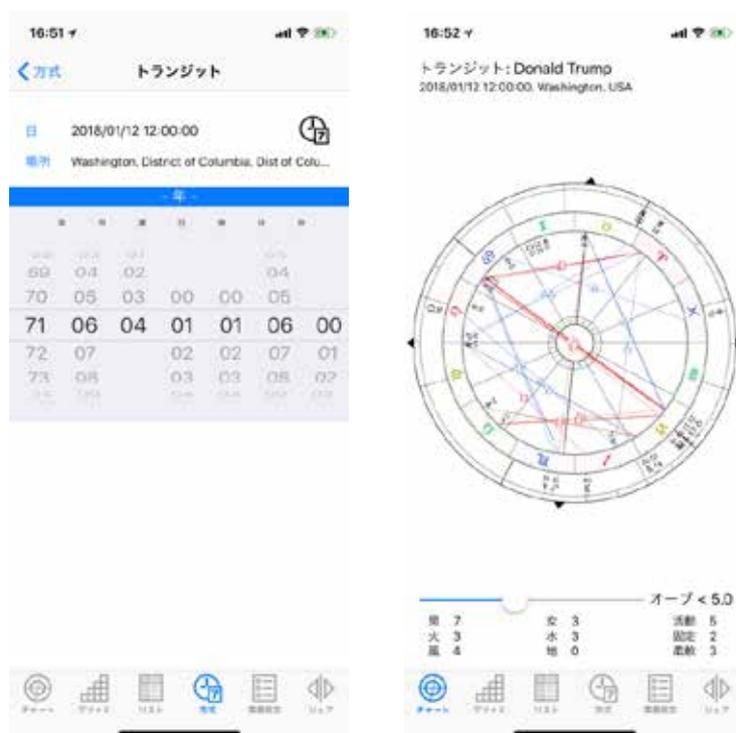


美しい出生チャートが表示されましたね。ここではオーブを5度で設定しました。

各天体間のアスペクトは「グリッド」をタップします。ここでもオーブを設定可能です。

また各天体とハウスカスプ等の情報は「リスト」をタップします。

その他のチャート（リレーションシップ、進行、経過、回帰）は「方式」メニューから各項目を選ぶだけで表示可能です。以下は2018年1月12日 12:00:00、Washington D.C.で経過チャートを表示した例です。



(4) チャートの印刷とデータバックアップ

チャートの印刷は「シェア」メニューをタップし、「印刷」を選びます。「メール」で送ることも出来ます。

また「AAFのエキスポート」で自分に出生データのバックアップを送信することができますので、その添付ファイルを「AAFのインポート」で復元することができます。これは、念の為に適宜エキスポートしておくことをお勧めします。



以上で一通りの使い方は理解できたことと思います。ビジュアルかつ直感的な洗練された操作となっていますので、習うより慣れろで色々なチャートを表示してみてください。

どうしてもわからない場合は、ツイッター@yasujiy までお問い合わせいただければ日本語でサポートします。